



しよれっと Palette

「ありがとう 伝えて広がる 協同の和」

3
2020 March
vol.235



「TAC指導員の課題実践報告」 西大寺宮農センターの取り組み内容

農を担う
米麦・大豆農家 安田 光宏さん
浦安地区……………10ページ



JA岡山は、組合員募集中です!

耕そう、大地と地域の未来。

しよれっと
ありがとう 伝えて広がる 協同の和
3
vol.235
2020 March

URL <https://www.ja-okayama.or.jp/>

発行/岡山市農業協同組合 〒700-8535 岡山市北区大供表町1-1
発行人/太田 誠一 編集/総務部総務課 TEL086(225)9846

Recipe

旬のレシピ紹介



シジミとセリのペンネ

【材料:2人分】

- ペンネ……………100g
- セリ……………1束
- オリーブ油……………大さじ2
- ニンニク……………1片
- シジミ……………200g
- 水……………2と1/2カップ
- 塩・こしょう……………適宜

【作り方】

1. 鍋にオリーブ油とつぶしたニンニクを入れ熱し、ニンニクの香りが立ったらシジミと水を入れ強火にかける。
2. 途中あくを取りながら4分の1ほどに煮詰める。
3. 鍋に塩を入れて沸かし、ペンネをゆでる。
4. ゆで上がったペンネを2に入れ、シジミのだしをしっかりと吸わせ、長めに切ったセリを入れ、塩・こしょうで味を調え出来上がり。

レシピ提供/永井智一(ながいとまかず)
茨城県笠間市にある「キッチン晴人(ハレジン)」
オーナーシェフ



早春の訪れ

編集後記

今回のあぐるグラムは、見ごろになった神崎緑地公園の梅をご紹介します。
毎年梅の花の香りを楽しみながら散歩をする人や家族連れが多く訪れ、にぎわいを見せています。公園には紅梅、白梅、しだれ梅など500本が植樹されており、今月中旬まで楽しめます。

園内では毎年梅の見ごろに合わせて「太伯振興梅まつり」が開催されており、出店やステージイベントの催しがあります。

今年は暖冬の影響もあり、開花予定が例年より早い見込みです。ピンクや白といった色のコントラストを楽しんでみてはいかがでしょうか。

編集担当 荻野 透



TAC指導員の課題実践報告

JA岡山営農振興計画に基づいた各営農センターTAC指導員の課題実践計画と取り組み内容について、TAC指導員と農業者の声とともにご紹介いたします。

—西大寺営農センターの取り組み内容—

●小麦施肥改善試験 ●野菜有望品種の選定試験



広報 2つの課題実践計画を設定した経緯について具体的に教えてください。

多田TACリーダー(以下、多田) 小麦の栽培では粗タンパク含量の確保(目標値9・7%、11・3%)が重要課題です。粗タンパク含量の向上には追肥(実肥)の施用が必要ですが、生産者から追肥の施用について、高齢のため実施が難しく、簡単に施用できる方法はないかと相談を受けました。そこで穂



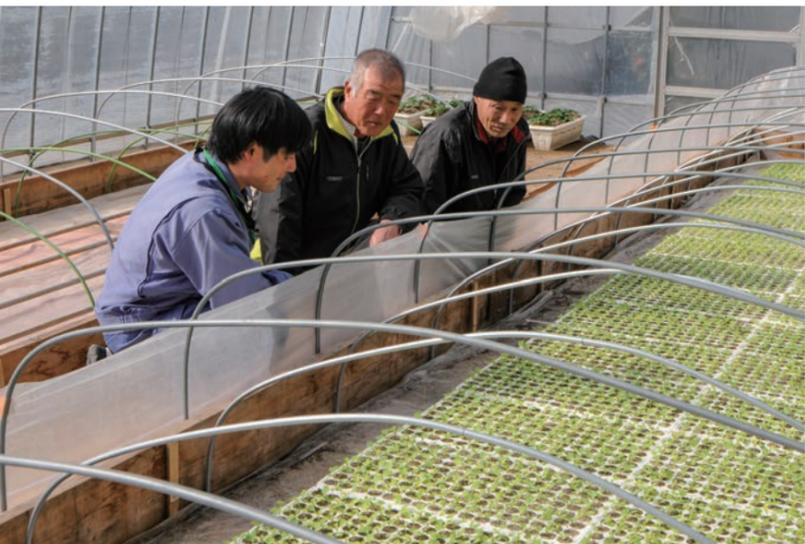
広報 設定した課題について、どのように取り組みましたか。また、どのような結果が得られましたか。

川本TAC指導員(以下、川本) 西大寺営農センター管内に試験区(2ほ場)を設置し、効果実

あたり課題や改善点はありましたか。

太田 春白菜(1品種)、南瓜(2品種)について、試験栽培を実施しました。春白菜は現地適性の確認ができました。南瓜については再度品種を検討し、令和2年産での試験栽培を計画しています。

太田 JA全農おかやま、種苗会社の推薦品種を試験栽培しました。現地適性が重要な課題となるため、今後も有望品種の情報収集に努めてきます。



広報 2つの課題実践計画を遂行するにあたりよかった点、苦労した点について教えてください。また、遂行するに

多田 小麦の施肥試験については継続試験を実施し、反復的に効果を確認した後に栽培暦への採用を目指します。



広報 部会・生産者からの評価はいかがですか。

多田 野菜の有望品種については、内容を再度検討し、瀬戸内営農センターと連携し、講習会等での情報発信に努めていきます。

広報 ありがとうございます。



西大寺営農センター センター長
みずた まなぶ
水田 学

広報 これまでのTAC指導員の活動評価ならびに今後の活動について期待することがあれば教えてください。

水田センター長(以下、水田) 技術、知識の向上を図り、地区担当者と協力し合い、活発な営農活動を展開することに期待しています。

1年目の所感と
2年目への思い



西大寺営農センター

センター長に聞く

広報 今回、TAC指導員が設定した2つの課題実践計画について、現時点での取り組みについての評価を教えてください。

広報 次年度の取組課題を設定するうえで方向性やTAC指導員に取り組んで欲しい課題等があればお願いします。

水田 小麦施肥改善試験については今年度は天候に恵まれ豊作年となり、粗タンパク含量の低下が懸念されましたが、試験区の分析結果は良好でした。令和2年産でも継続試験を実施し、施肥効果について講習会や反省会で情報発信に努めてもらいたいです。

水田 小麦、野菜に限らず、全品目に渡って地区担当者と連携して高品質・高収量による農業者の所得増大を目指し、地域に密着した営農活動を行うことに期待しています。

野菜有望品種の選定試験は引き続き、情報収集や意見交換を実施し、栽培試験の計画・実施を行ってほしいです。

近年、異常気象の中で農作物の栽培は厳しくなっています。TAC指導員には関係機関と連携し、安定した農作物の生産に寄与できるよう努めてほしいと思っています。

予告

ぱれっと4月号では特集 TAC指導員の課題実践報告 瀬戸内営農センターの取り組み内容を掲載予定です。



TAC指導員の取り組み内容に基づいて活動されている西大寺営農センター管内の組合員さんにお話を聞きました。(敬称略)

米麦農家



農事組合法人
グリーンファーム岡山
組合長

なるもと しゅんいち
成本 俊一

私は現在4.3畝小麦を経営しています。穂肥と実肥の施用が同時にできる2発肥料の導入によって、省力化が期待できますが、コスト面での課題があると思います。麦の生産量を増やすためにも前向きに取り組んでいきたいと考えています。

営農振興についてはTAC指導員がしっかりとサポートしてくれるので、とても心強いです。



東水田作経営者会議
会長

きしもと ゆきお
岸本 行雄

経営面から考えると本格的に実用化するためには肥料価格が重要になってくると思います。コストを抑えることができれば、省力化にもつながると思います。

また、2発肥料では肥料の効能が天候に左右される場合もあるので、そのあたりの問題点をクリアすることも必要になってくるのではないのでしょうか。

野菜農家



西大寺野菜部会
部会長

うき た じゅんじ
浮田 純治

今回試験栽培した南瓜についてはまずまずの出来でしたが、栽培のしやすさや収量、単価、病害虫耐性など多角的に考えながら今後も有望品種を選定していきます。

白菜については品種を切り替えて栽培し、今年から作付面積を増やしていきます。契約栽培にも取り組み、安定した収入を目指し経営していきます。



西大寺野菜部会
副部会長

たか はら きんいち
高原 勤一

南瓜は消費者のニーズがあると思いますが、労働力の省力化できる品種がよいのではないのでしょうか。

白菜の栽培では牛窓での勉強会に参加して情報収集し、よりよい物をつくっていきたくと考えています。

麦についてはまだ生産を初めて2年目ですが、機械作業で省力化に取り組めるだけでなく、米と同等の安定した収益が見込めるのが魅力的だと感じています。

野菜

色や形が豊富で食卓が鮮やかにになります



営農部指導課 中江 智子

●はつかだいこんの栽培

はつかだいこんは生育が早く、名前通り20日とまではいきませんが、春・夏なら30日前後で収穫できます。色や形が豊富で(資料1)、サラダやピクルスなどにすると食卓が鮮やかになります。

●ほ場の準備

ほ場は日当りがよく排水良好な場所を選んでください。播種の約2週間前までにほ場の準備を行います。1坪あたり堆肥を約6キ、苦土石灰を約300g(野菜いちばんの場合約160g)施用して耕

します。

●播種

初夏どりの場合、播種時期は暖かいところで3月～5月中旬です(資料2)。5～10日程度タイミンをずらして播けば、収穫を長く楽しむことができます。夏の高温期に肥大する作型では、型の乱れが大きくなるので注意してください。

畝幅約40cm(通路を含まない)の畝を立て、板や棒などで条間20cm、幅2cm、深さ1cm程度の播き溝をつけます(資料3)。約1cmの間隔で播種し、覆土をしてたっぷりと灌水してください。

●灌水

発芽までは地面が乾かないようにします。不織布や新聞紙をかけると乾きにくくなります。発芽後は多湿にならないよう水を控えめにし、土が乾かない程度に灌水します。

●間引き・追肥

本葉1枚のころに株間3～4cm程度に間引きます。株間

花き

ヨーロッパでは縁起のいい花言葉は「神秘」です



営農部指導課 中川 雄一

今月はスイセンの開花と分球についてお知らせします。

12月咲きのニホンズイセンに始まって、今も次々と花を咲かせて庭を彩っていると思います。極小輪から巨大輪、八重咲き、房咲きと多様です。神話から、うつむきがちに咲く美しい花に「ナルシッサ」の名が付きました。ヨーロッパでは縁起のいい花でウェールズの国花、花言葉は「神秘」の他さまざまですが、うっかりプレゼントできない内容のものもあるのでご注意ください。

●開花と球根の生育の関係

スイセンの開花は球根の充実で決まります。そして、養分を作る葉は花後長持ちせず、6月ごろには枯れ始めますから、それまでに球根の大きさを

が決まります。そして、夏の休眠に入っている間に球根の中で花芽分化が進むので、秋までにそれができなかった球根は植えても開花しません。

●開花後の充実促進

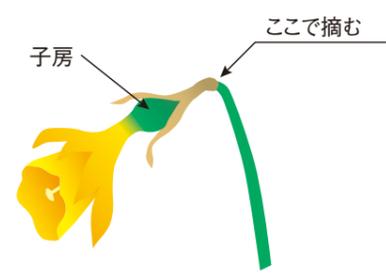
花がら摘み・花弁が傷み始めたなら、子房から先を摘み取り、結実して養分を浪費させないようにしましょう(資料4)。

追肥・花が終わったら、1～2度、液肥を施用します。追肥は控えめでよく、すぎると根が傷んだり、球根が腐ることもあります。

防除・必要に応じて花き類登録の薬剤などでアブラムシの防除をしましょう。

資料4 花がら摘み

茎を残し子房から先を摘む



資料5 子球の付き方のタイプ



大輪のラッパズイセンなど大きめの子球が少数できる(1個のことが多い)

小さい子球が多数できるタイプ。早く混み、花芽ができていく

資料6 球根の姿による開花の見込



日照不足や混みすぎなどで細長くなると花芽がないことが多い

丸く太った球根はほぼ全て花芽ができる

●3～4年に一度植え替え

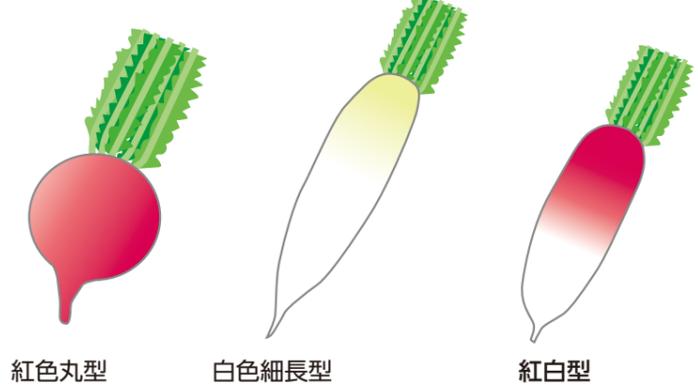
どの品種も毎年分球するため、数が増えると太れなくなります。品種によって大きめの子球が1～2個できるものと、最初の植え付け間隔にもよるので植えっぱなしにできる年数は一律ではありません(資料5)。芽数の割に花が少なくならその年は、葉が枯れ始めたらず掘り上げて分けましょう。時期の目安は葉が3分の2ほど黄ばんだころです。

●開花まで

球根の中にできた花芽は、種類による違いがありますが、一定の低温を経過することで花茎を伸ばし開花することができます。

掘り上げた陰干し、葉をとおり分球して、直射光が当たらず通気の良いところに保管します。

資料1 いろいろなタイプの品種



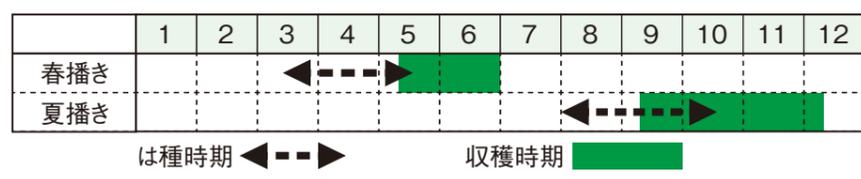
を十分に与えることで根がよく肥大します。もったいないからといって苗が混み合ったままにしていると、生育が不十分になるので適切な時期に間引きしましょう。

追肥は必要に応じて本葉2～3枚のころに化成肥料を窒素成分で約10g(野菜いちばんの場合約100g)施用します。この時、株にかからない程度に軽く土寄せも行います。

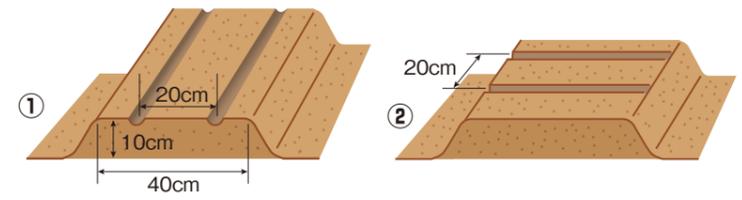
●収穫

土から顔を出した部分の直径が2～3cm程度になったころが収穫適期です。適期を過ぎると割れたり味が落ちたりするので、若いうちに収穫しましょう。

資料2 はつかだいこんの作型



資料3 畝立ての例



溝ごとに5～10日ずつずらして播くのもOK

果樹

発芽前後の
防除と落葉の
焼却や清掃も
行いましょう



営農部指導課
小野 智寛

3月になると、果樹は寒さによる休眠が開け、ほとんどの果樹で根の動きが活発化します。これから発芽、開花に向け、モモの摘蕾やせん定後の枝の誘引などぬかりなく仕上げていきましょう。今月は、果樹類の初期生育を促進する管理についてお知らせします。

●初期生育促進の必要性

「苗半作」など昔から植物の初期生育の重要性が指摘されてきました。これは、果樹においても同様で、発芽や新梢の伸長などが旺盛なほど早く葉面積が確保でき、また体を作る栄養成長から果実を实らせる生殖成長への転換をスムーズに行うことができます。つまり、スタートダッシュの良否が品質のよい果実が収穫できるか否かに大きく関わっているということです（資料7）。

●初期生育に影響する条件

桜の開花情報をよく耳にします

が、その時期に大きく影響するのは気温です。暖冬であれば早く、寒ければ遅くなります。しかし、栽培している果樹類には、他にも影響する条件が少なからず存在します。まずは土壌条件です。草に覆われているか、水分が多いか、更には肥沃かどうかなどです。要は、地温が上がりにやすい条件を作るかどうかということです。次は、樹の栄養状態です。基本的には樹勢が強いのか、貯蔵養分が多いか、肥料が十分に吸収できる状態にあるかどうかなどです。もう一つは、花芽や新梢が病害虫に被害されるなどの被害を受けることです。

●初期生育をよくする管理

① 除草管理

樹冠下に草があると、日光が直接土壌に当たらず、地温の上昇が遅れ、土壌中の養分や水分も吸収されてしまいます。雑草が旺盛となる今月下旬までには除草を徹底しておきましょう。

② 灌水の実施または排水対策

春先の雨が多ければ問題ありませんが、少ない場合は、灌水して土壌の乾き過ぎを防ぎましょう。また、転換田など土壌が多湿になっていると新根の伸長が阻害されます。滞水することがないように排水溝の点検、修理を行っておきましょう。

③ 土壌被覆資材の除去

堆肥のマルチなどで土壌を覆っている場合は別ですが、これから敷きわらなど行うことは、初期生育にマイナスとなります。また、霜の被害を助長することにもなりますので、注意しましょう。

④ 追肥（芽だし肥）の実施

樹勢が衰えて発芽が弱い場合や元肥が十分でない場合は、3月から4月にかけて、追肥を行いましょう。肥料は速効性の化学肥料で、10㎡当たり窒素成分量で2〜3gを施用し、初期生育を良くしてやりましょう。また、発芽を確認した後、葉面散布剤を施用するのも効果的です。

⑤ 病害虫の防除

春先のケムシ類の発生はよく耳にしますが、暖冬の年ほど越冬害虫が多く、早くから発生します。また、開花期に雨が多いと病気による芽枯れや花腐れが発生します。発芽前後の防除を徹底するとともに、落葉の焼却や園内の清掃も行い被害の未然防止に努めましょう。

資料7 落葉果樹の成長と養分との関わり
(阿倍ら、2001)

